

「イーレックス新潟（仮称）建設計画に係る環境影響評価方法書」に対する質問等への事業者等回答

資料 3

【 その他意見 】

No	環境要素等	その他	回答者	回答
1	計画	本来はNbS（ネイチャーベースドソリューションズ）の可能性がある施設であり、その可能性を追求していったほしい。グローバルで生物多様性と気候危機のデュアルクライシスに対応するような事業こそが必要とされると思います。	事業者	真摯に検討していきます。
2	計画	完成後にバイオマス発電施設として、地域住民や児童生徒が見学・学習等ができるように望みます。さらに、東北電力火力発電所との連携が可能であれば、市民がエネルギー問題や地球温暖化を地域の中で考えられる場になり得るものと思われます。	事業者	地域住民や児童生徒が見学・学習等ができるように検討します。発電所の事務所棟内には、見学者用の展示室、会議室を用意しエネルギー問題、環境問題への意識を教示すると共に、運転操作室を含め構内見学コースを用意する計画としています。東北電力殿との連携の可能性は今後検討していきます。
3	計画	国際情勢を鑑みて、使用燃料の内訳の変動やそれによる周辺環境への環境影響の変化が想定される場合は、行政としては随時情報を収集し、問題があった場合の対応を考慮したものとしていただきたいと思います。	事務局	今後、環境への影響が想定されるような燃料等の変動が生じる場合は、環境影響評価法に基づき、事業者へ適切な対応を求めています。

【 質 問 】

No	環境要素等	質問等の内容	【事業者】回答
1	計画	愛知県の武豊火力発電所で、衝撃な事故が起きました。かつて当該火力発電所の環境影響審査に関わった者として、一般の事故発生に正直とてもショックを受け人一倍の関心を持って報道を追いかけました。そして質問をすることにしました。ただし事故の原因などまだ解明されておらないようで、報道に頼るのみの意見となることはご了承下さい。 (1)木質バイオマスを燃料とした発電所や類似事業場において、これまでも爆発や火災の事故があった。ボヤなども起きていた。などと火災爆発事故の後追いですが報道されています。以上の様な事故について認識を持っていましたか。 (2)識者のコメント報道によれば、木質チップの運搬や移動で微細片、粉体が発生し、周辺らが火源に触れて火災現象が生じる可能性があるとのこと。新潟県では米菓工場で原料の原料の粉あるいは製品の微細破片が製造工程や建屋内で浮遊、堆積した状態のところに、製品焼成加工の高熱源によりそれらに引火、拡大して想像もできなかった場所で痛ましい火災事故が起きてしまったことはまだ記憶に残っています。しかも時々ボヤ事故も起こしていたとの報道もありました。この様な重大な事態の発生(可能性)に関する認識は持っているでしょうか。 (3)事業地の周辺は一般居住地域とは言えませんが、周辺には引火性の高いあるいは可燃性の高い物を利用するような重要な産業施設が多くあるように推測されます。火災発生の可能性は環境影響の基本的な項目には入っていませんが、以上(1)、(2)の様な事態を引き起こす可能性があるとするれば、本事業の計画にも十分な防御策が、目に見える形で具体的に提示される必要があると考えます。単に十分な防止策、管理体制を設けるなど文字だけの提示では不十分と考えます。 (4)以上についての認識と見解を求めます。	(1)認識しています。 (2)認識しています。 (3)(4) 新潟東港地域は石油コンビナート等特別区に指定されていることも踏まえ、所轄消防署とも相談しながら、発電所の保安防災を計画します。粉じんの飛散防止対策としては、燃料の荷役をニューマチックアンローダ等で吸込み式として粉じんの発生を抑制し、また、ベルトコンベアや燃料倉庫は密閉式とします。防災対策としては、密閉式の燃料搬送ルート内に粉じんが溜まらないように粉じん防止設備（集塵機、また、必要に応じてホッパ、落下シュート、ロータリーフィーダ等）を適切な場所に設置します。火災の予兆検知・早期検知対策としては、倉庫等貯蔵時ならびに燃料搬送ルート上の燃料の温度監視（温度計又は光ファイバー温度監視）を実施し、また、必要に応じ、ガス検知を実施します。火災源対策としては、電気設備他の防爆対策を実施します。
2	計画	バイオマス発電所での火災が多発しています。 「JERA」の愛知県武豊町のバイオマスと石炭の混焼発電所で1月31日午後火災が発生しました。「JERA」は2022年9月に茨城県東海村のバイオマス発電でも火災が発生しました。 また2023年9月には米子バイオマス発電所で木質ペレットを受け入れる建屋で爆発を伴う火災が発生しました。このように各所でバイオマス発電所が火災を発生しておりますが、その防止安全対策はどのようにされていますか。	更に、他社既設事故の原因調査の進展に基づく今後の対応策を、本設備に反映することを検討していきます。